

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 30分

法 規

〔1〕 無線局の免許状に記載される事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線設備の設置場所
- 2 無線局の目的
- 3 空中線の型式及び構成
- 4 通信の相手方及び通信事項

〔4〕 無線局の臨時検査（電波法第73条第5項の検査）において検査されることがあるものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の知識及び技能
- 2 無線従事者の勤務状況
- 3 無線従事者の資格及び員数
- 4 無線従事者の住所及び氏名

〔2〕 無線従事者の免許が与えられないことがある者は、無線従事者の免許を取り消され、取消しの日からどれほどの期間を経過しないものか。次のうちから選べ。

- 1 1年
- 2 3年
- 3 2年
- 4 5年

〔5〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 直ちに廃棄する。
- 2 1箇月以内に総務大臣に返納する。
- 3 3箇月以内に総務大臣に返納する。
- 4 2年間保管する。

〔3〕 無線従事者が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣から受けることがある処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 その業務に従事する無線局の運用の停止
- 2 無線従事者の免許の取消し
- 3 期間を定めて行う無線設備の操作範囲の制限
- 4 6箇月間の業務の従事の停止

〔6〕 固定局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 無線局のある事務所の見やすい箇所
- 2 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 3 通信室内の見やすい箇所
- 4 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
- 2 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、通報の送信終了後一括して訂正しなければならない。
- 3 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
- 4 無線通信を行うときは、自局の識別信号を付して、その出所を明らかにしなければならない。

〔8〕 無線局がなるべく擬似空中線回路を使用しなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 工事設計書に記載した空中線を使用できないとき。
- 2 他の無線局の通信に混信を与える ^{おそれ} があるとき。
- 3 総務大臣の行う無線局の検査のために運用するとき。
- 4 無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するとき。

〔9〕 モールス無線通信の手送りによる和文の通報の送信速度の標準は、1分間について何字と規定されているか。次のうちから選べ。

- 1 60字
- 2 50字
- 3 85字
- 4 75字

〔10〕 空中線電力50ワットの固定局の無線設備を使用して呼出しを行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるときの呼出しは、どれによることができるか。次のうちから選べ。

- | | | |
|---|--------------|------|
| 1 | (1) 相手局の呼出符号 | 3回以下 |
| | (2) DE | 1回 |
| 2 | (1) DE | 1回 |
| | (2) 自局の呼出符号 | 3回以下 |
| 3 | 相手局の呼出符号 | 3回以下 |
| 4 | 自局の呼出符号 | 3回以下 |

〔11〕 モールス無線通信において、「OSO」を前置した呼出しを受信した場合は、応答する場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 混信を与える ^{おそれ} 虞のある電波の発射を停止して傍受する。
- 2 直ちに付近の無線局に通報する。
- 3 直ちに非常災害対策本部に通知する。
- 4 すべての電波の発射を停止する。

〔12〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与える旨の通知を受けたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 空中線電力をなるべく小さくして注意しながら呼出しを行う。
- 2 中止の要請があるまで呼出しを反復する。
- 3 直ちにその呼出しを中止する。
- 4 混信の度合いが強いつきに限り、直ちにその呼出しを中止する。